

# 補足情報

---

DISPLAY VTU2702

# 目次

はじめに .....	3
<b>1 本製品の特長 .....</b>	<b>5</b>
使用方法 .....	8
<b>2 各部の名称と機能 .....</b>	<b>10</b>
<b>3 ディスプレイドライバーのインストール .....</b>	<b>13</b>
初めて電源を入れるとき .....	13
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする .....	13
<b>4 ディスプレイの設定 .....</b>	<b>14</b>
細かい設定を行う .....	14
<b>5 PIP / PBP モード .....</b>	<b>21</b>
PIP (Picture In Picture) モードの設定 .....	21
PBP (Picture By Picture) モードの設定 .....	24
<b>6 自動回転機能 .....</b>	<b>27</b>
自動回転機能の設定 .....	27
<b>7 コンピューター本体切替機能 (KVM スイッチ) .....</b>	<b>29</b>
2 台のコンピューターを接続する .....	30
表示するコンピューターを切り替える .....	31
キーボードやマウスの接続先を切り替える .....	31
<b>8 省電力機能 .....</b>	<b>33</b>
<b>9 トラブルシューティング .....</b>	<b>34</b>
画面がおかしい .....	34
画面が調節できない .....	35
音が聞こえない / 変な音が聞こえる .....	36
その他 .....	36
<b>10 日常のお手入れ .....</b>	<b>37</b>
清掃する .....	37
<b>11 リサイクル .....</b>	<b>38</b>
<b>12 付録 .....</b>	<b>39</b>
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法 .....	39
<b>13 仕様 .....</b>	<b>42</b>
本体仕様 .....	42
標準表示仕様 .....	43
コネクタ仕様 .....	44
外形図 .....	46

# はじめに

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

## ■ マニュアルについて

- ・ディスプレイの設置、接続までは『取扱説明書』をご覧ください。  
『取扱説明書』の「使用上のご注意」も必ずお読みください。
- ・画質の設定などの技術情報は、このマニュアルをご覧ください。

## ■ 警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

## ■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

## ■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 <b>重要</b>	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

## ■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

## ■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VTU2702	本製品

## ■ PC リサイクルマークについて

本製品の装置銘板には、PC リサイクルマークが付けられています。PC リサイクルマークが付いた弊社の製品は、弊社専用受付窓口にて無償で回収、再資源化いたします。廃棄、リサイクルについては、「リサイクル」(→ P.38)をご覧ください。

## ■ 商標および著作権について

Amazon、Amazon Fire TV stick は Amazon.com,Inc. またはその関連会社の登録商標です。

Chromecast、Google ならびにすべての Google の商標およびロゴは、Google LLC の商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



VESA は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Client Computing Limited 2024

# 1 本製品の特長

## 1 大画面・高解像度・高品位 In-Plane Switching 3 辺狭額パネル

- ・クリエイティブな作業や CAD ユースから一般事務処理までマルチに使える 27 型ワイドの大画面です。
- ・4K UHD (3840×2160 ドット) の解像度で最適に表示されます。
- ・色深度 10 ビット (10.7 億色)
- ・HDR10 に対応
- ・3 辺スリムベゼルフレーム

## 2 ブルーライト／チラツキ軽減機能

目の疲れを軽減する機能です。

第三者認証機関によるブルーライト軽減機能およびフリッカーフリー設計の認証を取得しています。

### POINT

#### ▶ ブルーライト軽減機能に関する注意

このディスプレイには「ブルーライト軽減機能」があります。ブルーライト軽減機能は OSD メニューで選択できます。ブルーライト軽減機能を使用すると、ディスプレイからのブルーライトの放射量を最小限に抑えられます。

## 3 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

## 4 sRGB 対応

ディスプレイとプリンター／スキャナー／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGB での表示が可能です。

### POINT

▶ sRGB とは、ディスプレイ／スキャナー／デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンターで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

sRGB の設定については「カラーモード」(→ P.17) をご覧ください。

## 5 多彩なインターフェース対応

HDMI (HDCP 対応)、USB UP コネクタ、および USB DOWN コネクタ 2 個を搭載しています。

## 6 多彩な設置方法

- ・VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームまたは壁掛けキットに取り付けることができます。

### POINT

▶ 「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイをアームまたは壁掛けキットに取り付けるインターフェースです。

インターフェースとしては 75mm×75mm と 100mm×100mm の 2 種類あります。本製品は、100mm×100mm に対応しています。

- ・最大 145mm のハイト機能を搭載しています。上下方向の最適な位置に高さ調整することができます。また、画面を 90° 回転させて縦長の画面に設定することができます。

## 7 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。このマークは富士通グループのグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。

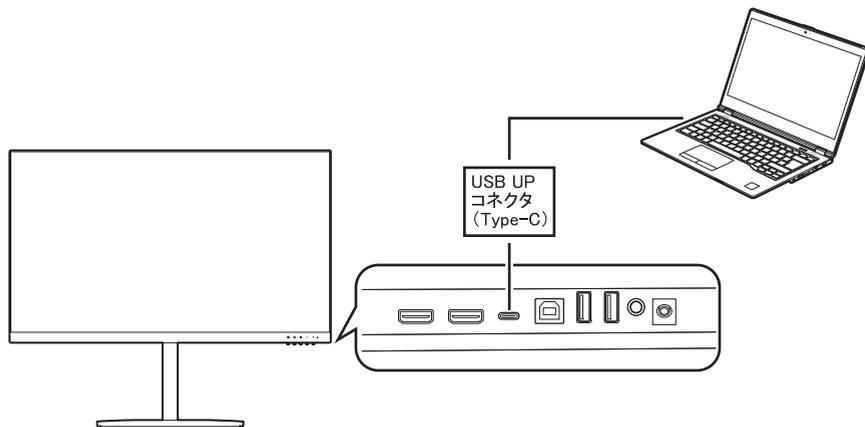


## 8 USB Type-C ケーブルを使ってシンプルな接続で多くの機能を実現

- USB Type-C 経由でコンピューターからの映像信号 (DisplayPort) を入力することができます。
- USB Type-C からコンピューターへ電源供給  
最大 65W (20V、3.25A) の供給可能な USB Power Delivery に対応しています。接続しているコンピューターへの電源供給が可能です。DisplayPort Alternate Mode に対応した USB Type-C コネクタが必要です。
- コンピューター本体切替機能 (KVM スイッチ)  
2 台のコンピューターを本製品に接続したとき、本製品に接続された 1 組のキーボード、マウスなどの USB 機器をコンピューターの表示にあわせて切り替えて使用することができます。
- USB Type-A コネクタ 2 個のダウンストリームをサポート  
USB2.0 ハブを搭載しており、USB デバイスを接続できます。

### POINT

- ▶ 接続しているコンピューターが、それぞれの機能をサポートしている必要があります。
- ケーブル 1 本でノート型コンピューターと接続  
<お勧めの接続例>



添付の USB Type-C ケーブル 1 本の接続で、ノート型コンピューターのセカンドディスプレイとして使用することができます。ノート型コンピューターには、USB Type-C コネクタ (Gen1、DisplayPort Alternate Mode 対応) が必要です。

USB Power Delivery 対応なので、本製品から DisplayPort Alternate Mode に対応した USB Type-C コネクタを搭載したノート型コンピューターに電源供給ができます。最大 65W (20V、3.25A)。

会議にノート型コンピューターを持ち運ぶときや、セキュリティ管理のために保管場所へ出し入れするときなど、USB Type-C ケーブル 1 本を抜くだけで、ノート型コンピューターを移動させることができます。

## 9 自動回転機能

自動回転機能を有効にすることで、本体内蔵のセンサーが縦画面、横画面を検出します。コンピューターのディスプレイの設定で画面の向きを変更しなくても縦画面で使用できます。

## 10 Picture In Picture (PIP)

- ・メイン画面の上にサブ画面を表示します。



- ・本製品に接続した機器の中から任意の 2 台を選択することができます。
- ・同一画面をメイン、サブ両方に表示させることもできます。
- ・サブ画面の表示位置を画面の四隅から 1ヶ所、大きさを 3 段階に調整できます。
- ・メイン画面、サブ画面のどちらかの音声出力を選べます。

## 11 Picture By Picture (PBP)

- ・メイン画面、サブ画面を左右に並べて表示します。



- ・本製品に接続した機器の中から任意の 2 台を選択することができます。
- ・同一画面を左右両方に表示させることもできます。
- ・メイン画面、サブ画面のどちらかの音声出力を選べます。

## 使用方法

ディスプレイを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。ディスプレイをお使いになるときは疲労に注意し、適切な環境で作業してください。



### ■ ディスプレイ

- ・ 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンの取り付けや、画面の向きや角度の調整をしましょう。
- ・ 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ・ ディスプレイの上端が目と同じかやや低くなるようにしましょう。
- ・ ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- ・ 目と画面の距離は、50cm以上離すようにしましょう。

### ■ 使用時間

1時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間をとりましょう。そのとき、目の体操やできるだけ遠くを見るようにし、目の疲れやドライアイを予防しましょう。また、休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回とり入れましょう。

### ■ 入力機器

キーボードやマウスは、ひじの角度が90°以上になるようにして使い、手首やひじは机、椅子のひじかけなどで支えるようにしましょう。

### ■ 机と椅子

高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。

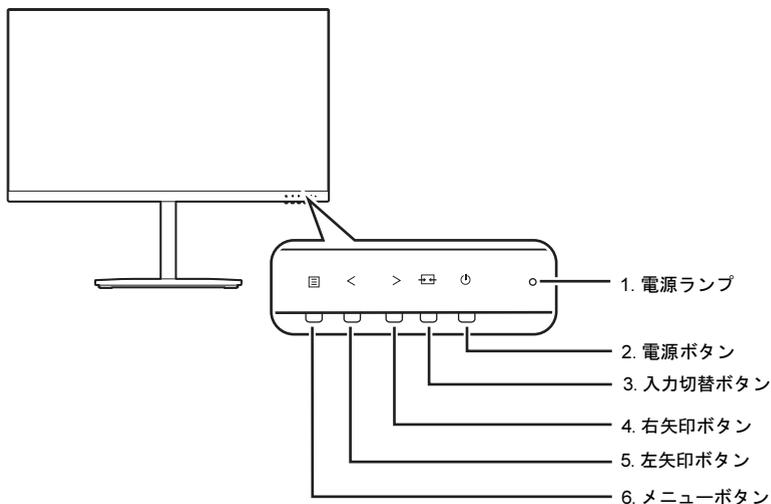
- ・ 机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
- ・ 椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- ・ 椅子は、背もたれ、ひじかけ付きを使用しましょう。

## ■作業スペース

机上のディスプレイの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子のひじかけなどを利用して腕を支えましょう。

## 2 各部の名称と機能

### ■ 前面



#### 1 電源ランプ

本製品の電力状態を表します。  
「省電力機能」(→ P.33)

#### POINT

▶ 電源ランプは、作業の妨げにならないように配置しています。電源ランプの状態が確認しにくいときは、視線を左右にずらして確認してください。

#### 2 電源ボタン (⏻)

本製品の電源オン/オフを切り替えます。

#### 3 入力切替ボタン (↔)

メニューが表示されていないときに押すと、入力信号を切り替えることができます。  
メニュー画面を終了するときに押します。

#### 4 右矢印ボタン (➤)

メニューが表示されていないときに押すと、メニュー画面が表示されます。  
メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。

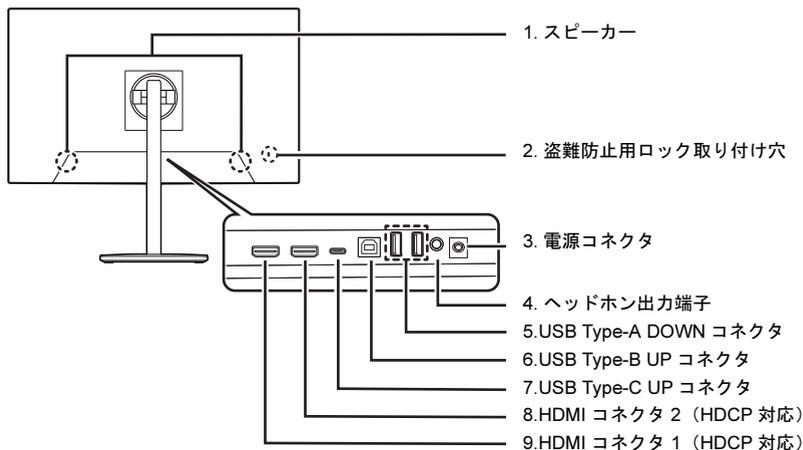
#### 5 左矢印ボタン (➤)

メニューが表示されていないときに押すと、メニュー画面が表示されます。  
メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。

#### 6 メニューボタン (☰)

メニュー画面を表示、調整項目を選択するときに押します。

## ■ 背面



### 1 スピーカー

音声を出力します。

### 2 盗難防止用ロック取り付け穴 (🔒)

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

### 3 電源コネクタ (🔌)

添付の AC アダプタを接続します。

### 4 ヘッドホン出力端子 (🎧)

ヘッドホンとオーディオケーブルで接続します。

### 5 USB Type-A DOWN コネクタ (USB2.0) (🔌)

USB 2.0 に対応したダウンストリームポートです。キーボードやマウスなどの USB 機器を接続して使用します。

#### POINT

- ▶ コンピューターと接続していないと利用できません。
- ▶ USB 2.0 対応コネクタのため、Amazon Fire TV Stick や Chromecast などのマルチメディアデバイスに給電できません。
- ▶ USB Type-A コネクタを使用するときは、接続する機器（コンピューターなど）と USB ケーブルで接続してください。映像信号を USB Type-C で接続している場合は、追加のケーブルなしで USB Type-A コネクタを使用することができませんが、映像信号を HDMI で接続している場合は、本製品の USB Type-B コネクタとコンピューターを USB ケーブルで接続してください。

### 6 USB Type-B UP コネクタ (USB2.0) (🔌)

USB2.0 に対応したアップストリームポートです。映像信号を HDMI で接続しているときに USB Type-A コネクタを使用する場合に、USB Type-B コネクタとコンピューターを市販の USB ケーブルで接続します。

#### POINT

- ▶ USB Type-B コネクタ接続用の USB ケーブルは、本製品には添付されておりません。市販のケーブルをご購入ください。

- 7 USB Type-C UP コネクタ (DisplayPort Alternate mode) (USB2.0)** (  )  
USB 2.0 に対応したアップストリームポートです。コンピューターなどの機器と添付の USB Type-C ケーブルで接続します。映像入力や給電機能で使用します。

**POINT**

- ▶ USB Type-C での給電機能 (USB-PD) は、接続する機器の USB Type-C コネクタが DisplayPort Alternate Mode に対応している必要があります。DisplayPort Alternate Mode 非対応の USB Type-C コネクタには給電できません。
- ▶ PC- ディスプレイ電源連動機能はサポートしておりません。弊社コンピューターとの組み合わせでも、電源連動機能は動作しません。
- ▶ バッテリー残量が 0% のノート型コンピューターやバッテリーを搭載していないコンピューターなど、自力で起動できない状態など USB-PD の初期化処理が行えない状態のコンピューターを接続している場合は、給電できない場合があります。
- ▶ 本製品の電源をオフにすると給電を停止します。
- ▶ 自動回転機能をオンにして画面の回転を行うと給電が停止する場合があります。

- 8 HDMI コネクタ 2 (HDCP 対応) (HDMI)**  
コンピューターと添付の HDMI ケーブルで接続します。

- 9 HDMI コネクタ 1 (HDCP 対応) (HDMI)**  
コンピューターと添付の HDMI ケーブルで接続します。

**POINT**

- ▶ HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

**⚠ 注意**

- ・ 本製品をご使用中は、不用意に背面ケーブル接続箇所に触れたり、ケーブルの抜き差しを行ったりしないでください。必ず本製品の電源をオフにしてから行ってください。

## 3 ディスプレイドライバーのインストール

---

### 初めて電源を入れるとき

---

コンピューターに接続後、最初に電源を入れたときに、本製品のディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニター」として設定を完了させ、その後ディスプレイドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

#### POINT

- ▶ お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニター」としてご使用ください。

### 最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

---

最新のディスプレイドライバー（INF ファイル）は、ディスプレイのマニュアル・関連アプリ (<https://azby.fmworld.net/support/manual/display/>) のページ内「ディスプレイ装置 INF ファイル」から、お使いのディスプレイの型名（VTU2702）を検索してダウンロードしてください。

# 4 ディスプレイの設定

## 細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。

### ■メニュー画面の基本的な操作

#### □ ボタンの基本機能

メニューボタン  
メニュー画面が表示されている場合  
・ 調整項目の決定  
メニュー画面が表示されていない場合  
・ メニュー画面の表示

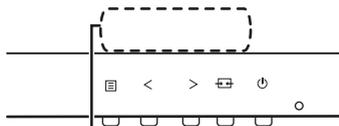
右矢印ボタン  
メニュー画面が表示されている場合  
・ 調整項目の選択  
・ 設定値の調整  
メニュー画面が表示されていない場合  
・ メニュー画面の表示

左矢印ボタン  
メニュー画面が表示されている場合  
・ 調整項目の選択  
・ 設定値の調整  
メニュー画面が表示されていない場合  
・ メニュー画面の表示

入力切替ボタン  
メニュー画面が表示されている場合  
・ 直前のメニュー画面に戻る  
・ メニュー画面の終了  
メニュー画面が表示されていない場合  
・ 入力切替画面の表示

#### □ 操作方法

設定を変更するときにそれぞれのボタンを押すと、各ボタンが下表のように動作します。



操作時、各ボタンにどのような機能が割り振られているかは、この部分に表示されています。

ボタンの上に表示される操作アイコンを確認のうえ、ボタンを押して設定を変更してください。それぞれの操作アイコンの機能は、次のようになります。

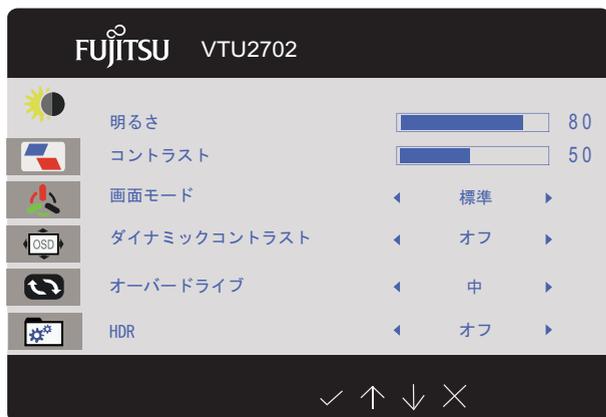
操作アイコン	機能
↑/↓	メニュー（サブメニュー）の設定項目を選択する
+/-	選択した設定項目の調整値を変更する
←/→	選択した設定項目を変更する
☑	・ 選択したサブメニューを表示する ・ 調整値を確定する ・ 設定項目を確定する
↶	直前のメニュー画面に戻る
✕	メニューを終了する

## ■ 設定項目の内容

ボタンには複数の機能があります。

ボタン名	機能
電源 (⏻)	電源のオン/オフを切り替えます。
入力切替 (↔)	入力信号を選択します (→ P.19)。
右矢印 (>) 左矢印 (<) メニュー (☰)	明るさ (→ P.15) / イメージ (→ P.16) / カラーモード (→ P.17) / メニュー設定 (→ P.18) / リセット (→ P.18) / その他 (→ P.19)

## ■ 明るさ



## □ 調整項目の内容

名称	機能
明るさ	画面全体の明るさを調整します。標準モード以外では設定できません。
コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。標準モード以外では設定できません。
画面モード	コンテンツに応じた画面モードを設定します。
標準	明るさ、コントラストを調整できる画面モードに設定します。
FPS	FPS ゲームに応じた画面モードに設定します。
RTS	RTS ゲームに応じた画面モードに設定します。
ブルーライトカット	ブルーライトの放射量を抑えた画面モードに設定します。
ゲーム	ゲームに応じた画面モードに設定します。
映画	映画に応じた画面モードに設定します。
ダイナミックコントラスト	ダイナミックコントラスト機能のオン/オフを設定します。

オーバードライブ	応答速度を設定します。
強	応答速度を 4ms に設定します。
中	応答速度を 5ms に設定します。
弱	応答速度を 7ms に設定します。
HDR	高ダイナミックレンジ (HDR) 機能のオン/オフを設定します。コンピューターの HDR 設定を有効にしたときに設定します。PIP/PBP モード、自動回転機能がオンのときは設定できません。

## ■ イメージ



### □ 調整項目の内容

名称	機能
アスペクト比	アスペクト比を全画面、4:3 に設定します。PIP/PBP モード、自動回転機能オンでは選択できません。

PIP/PBP モード		PIP/PBP モードを設定します。
	オフ	PIP/PBP モードをオフにします。
	PIP	Picture In Picture (PIP) モードに切り替えます。
	PBP	Picture By Picture (PBP) モードに切り替えます。
PIP サイズ		PIP モードのサブ画面のサイズを大／中／小に設定します。
PIP 位置		PIP モードのサブ画面の位置を設定します。本製品の液晶ディスプレイを横向きに設置したときの位置 (右上／右下／左上／左下) を指定できます。
サブ画面	HDMI1	PIP/PBP モードのサブ画面の入力コネクタを HDMI コネクタ 1 に設定します。
	HDMI2	PIP/PBP モードのサブ画面の入力コネクタを HDMI コネクタ 2 に設定します。
	USB-C	PIP/PBP モードのサブ画面の入力コネクタを USB Type-C UP コネクタに設定します。
画面入替		PIP/PBP モードのときにメイン画面とサブ画面を入れ替えます。
自動回転		自動回転機能のオン／オフを設定します。 本製品の液晶ディスプレイを回転させたときに、液晶ディスプレイの画面を自動的に縦画面、横画面に切り替えます。PIP/PBP モード、HDR オンでは設定できません。

## ■ カラーモード



### □ 調整項目の内容

名称	機能
カラーモード	赤、緑、青の色温度を調整します。PIP/PBP モード、HDR オンでは設定できません。
ノーマル	色温度を標準色に設定します。
暖色	色温度を赤みがかった色に設定します。
寒色	色温度を青みがかった色に設定します。
sRGB	色温度を sRGB に設定します。
ユーザー設定	赤、緑、青の色割合をそれぞれ設定します。
ブルーライトカット	ブルーライトの放射量を抑えた目に優しい画面モードに設定します。 PIP/PBP モード、HDR オンでは設定できません。

## ■メニュー設定



### □ 調整項目の内容

名称	機能
言語	OSD メニューやメッセージの表示言語を設定します。
水平位置	OSD メニューの水平位置を設定します。
垂直位置	OSD メニューの垂直位置を設定します。
タイムアウト	OSD メニューの表示時間を調整します。
透明度	OSD メニューの透明度を設定します。

## ■リセット



### □ 調整項目の内容

名称	機能
工場リセット	すべての項目をご購入時の設定に戻します。

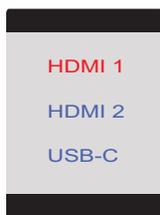
## ■ その他



### □ 調整項目の内容

名称	機能
映像入力	
HDMI1	メイン画面の入力コネクタを HDMI コネクタ 1 に切り替えます。
HDMI2	メイン画面の入力コネクタを HDMI コネクタ 2 に切り替えます。
USB-C	メイン画面の入力コネクタを USB Type-C コネクタに切り替えます。
音量	スピーカーの音量を調整します。
鮮明さ	画像の輪郭を強調します。
USB 設定	
USB-B	USB UP コネクタを USB Type-B UP コネクタに設定します。
USB-C	USB UP コネクタを USB Type-C UP コネクタに設定します。
音声入力	
メイン	PIP/PBP モードのときの音声入力を「メイン」に切り替えます。
サブ	PIP/PBP モードのときの音声入力を「サブ」に切り替えます。

## ■ 入力信号



□ 調整項目の内容

名称	機能
HDMI1	メイン画面の入力コネクタを HDMI コネクタ 1 に切り替えます。
HDMI2	メイン画面の入力コネクタを HDMI コネクタ 2 に切り替えます。
USB-C	メイン画面の入力コネクタを USB Type-C UP コネクタに切り替えます。

# 5 PIP / PBP モード

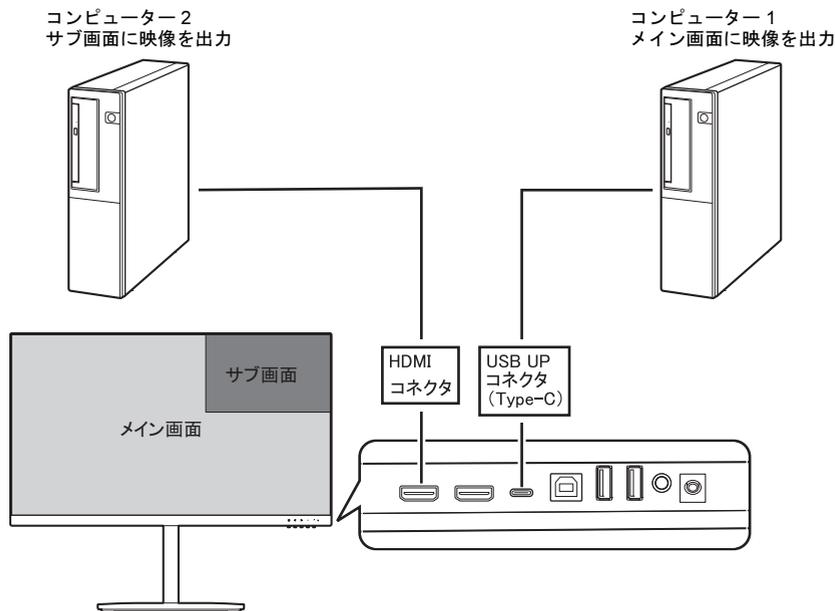
本製品に接続した機器の 2 つの入力映像をメイン画面とサブ画面で同時に表示することができます。メイン画面の上に小さくサブ画面を表示する PIP (Picture In Picture) モードとメイン画面とサブ画面を左右に並べて表示する PBP (Picture By Picture) モードを設定できます。

## POINT

- ▶ PIP / PBP モードを利用している状態では、自動回転機能は動作しません。
- ▶ PBP モードを利用している場合、1920×2160 (フル画面 (3840×2160) の半分の解像度) 以外の解像度の画面でアスペクト比が保持されない場合は、「ディスプレイの詳細設定」で「アクティブな信号解像度」または「アクティブなシグナルモード」を表示したい解像度に設定してください。「設定」→「システム」→「ディスプレイ」→「ディスプレイの解像度」で解像度を変更すると、アスペクト比を保持した状態で表示できない場合があります。
- ▶ PBP モードを利用している場合、マルチメディアデバイスやゲーム機など、1920×2160 を選択できない機器ではアスペクト比を保持した状態で表示できない場合があります。
- ▶ 3840×2160、60Hz に対応していない機器やケーブルを接続すると、正しく表示できない場合があります。

## PIP (Picture In Picture) モードの設定

ここでは、本製品に 2 台のコンピューターを接続する場合を例に、PIP モードの設定方法を説明します。



## ■ PIP モードをオンにする

- 1 本製品とコンピューター 1 を **USB Type-C** ケーブルで接続します。
- 2 本製品に画面が表示されたら、本製品とコンピューター 2 を **HDMI** ケーブルで接続します。
- 3 メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。
- 4 ↓ボタンを 1 回押して次の画面を表示し、 ボタンを押します。



- 5 ↓ボタンを 1 回押して「PIP/PBP モード」を選択し、 ボタンを押します。
- 6 →ボタンを押して「PIP」を選択し、 ボタンを押します。



メイン画面の上にサブ画面が表示され、メニュー画面が閉じます。

## ■サブ画面を設定する

サブ画面で表示する入力コネクタを設定します。

### POINT

- ▶サブ画面のサイズを変更する場合は、「PIP サイズ」で設定を変更してください。
- ▶サブ画面の表示位置を変更する場合は、「PIP 位置」で設定を変更してください。

- 1 メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。
- 2 ↓ボタンを1回押して次の画面を表示し、ボタンを押します。

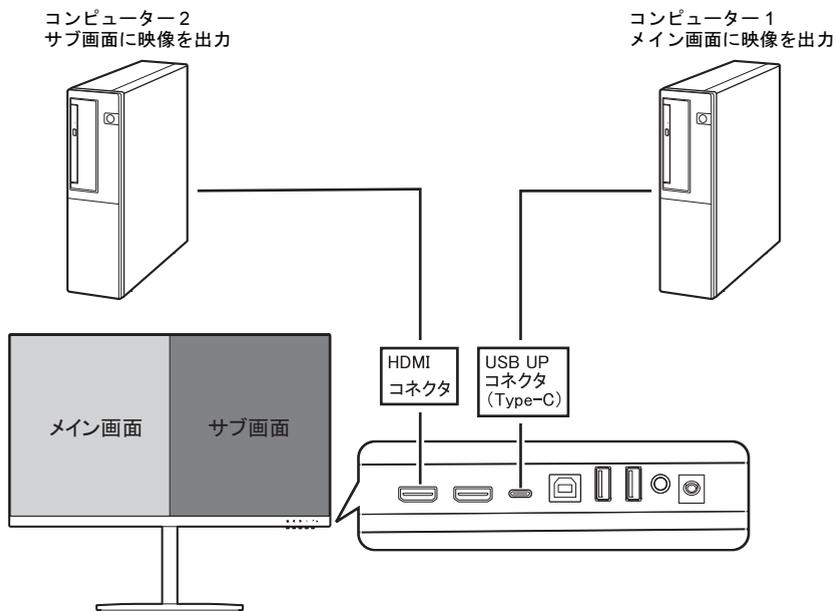


- 3 ↓ボタンを3回押して「サブ画面」を選択し、ボタンを押します。
- 4 ←ボタンを押して「HDMI1」を選択し、ボタンを押します。



## PBP (Picture By Picture) モードの設定

ここでは、本製品に 2 台のコンピューターを接続する場合を例に、PBP モードの設定方法を説明します。



### ■ PBP モードをオンにする

- 1 本製品とコンピューター 1 を **USB Type-C** ケーブルで接続します。
- 2 本製品の画面が表示されたら、本製品とコンピューター 2 を **HDMI** ケーブルで接続します。
- 3 メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。

- 4 ↓ボタンを1回押して次の画面を表示し、 ボタンを押します。



- 5 ↓ボタンを押して「PIP/PBPモード」を選択し、 ボタンを押します。

- 6 →ボタンを押して「PBP」選択し、 ボタンを押します。



メイン画面とサブ画面が左右に表示され、メニュー画面が閉じます。

## ■サブ画面を設定する

サブ画面で表示する入力コネクタを設定します。

- 1 メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。
- 2 ↓ボタンを1回押して次の画面を表示し、✓ボタンを押します。



- 3 ↓ボタンを1回押して「サブ画面」を選択し、✓ボタンを押します。
- 4 ←ボタンを押して「HDMI1」を選択します。



## 6 自動回転機能

本製品の液晶ディスプレイを回転させたときに、液晶ディスプレイの画面を自動的に縦画面、横画面に切り替えます。

### POINT

- ▶ PIP/PBP を利用している状態では、自動回転機能は動作しません。
- ▶ 自動回転機能を有効にしている状態では、表示できる解像度、リフレッシュレートに制限があります。HDMI: 2160×3840（UHD の縦画面の解像度）では最大 40Hz まで
- ▶ 自動回転機能をオンにした状態で画面の向きを変えると、USB Type-C への給電が停止する場合があります。バッテリーを搭載していないコンピューターを接続するときは、コンピューターに電源ケーブルを接続してお使いください。
- ▶ 3840×2160、60Hz に対応していない機器やケーブルを接続すると、正しく表示できない場合があります。
- ▶ マルチメディアデバイスやゲーム機など、2160×3840 を選択できない機器ではアスペクト比を保持した状態で表示できない場合があります。

## 自動回転機能の設定

- 1 メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。
- 2 ↓ボタンを 1 回押して次の画面を表示し、 ボタンを押します。



- 3 ↑ボタンを押して「自動回転」を選択し、✓ボタンを押します。



- 4 →ボタンを押して「オン」選択し、✓ボタンを押します。



- 5 ↶ボタンを押した後、✕ボタンを押します。

# 7 コンピューター本体切替機能（KVM スイッチ）

---

1組のキーボード、マウス、ディスプレイの接続先を切り替えて、複数のコンピューターを操作するための機器をKVMスイッチといいます。

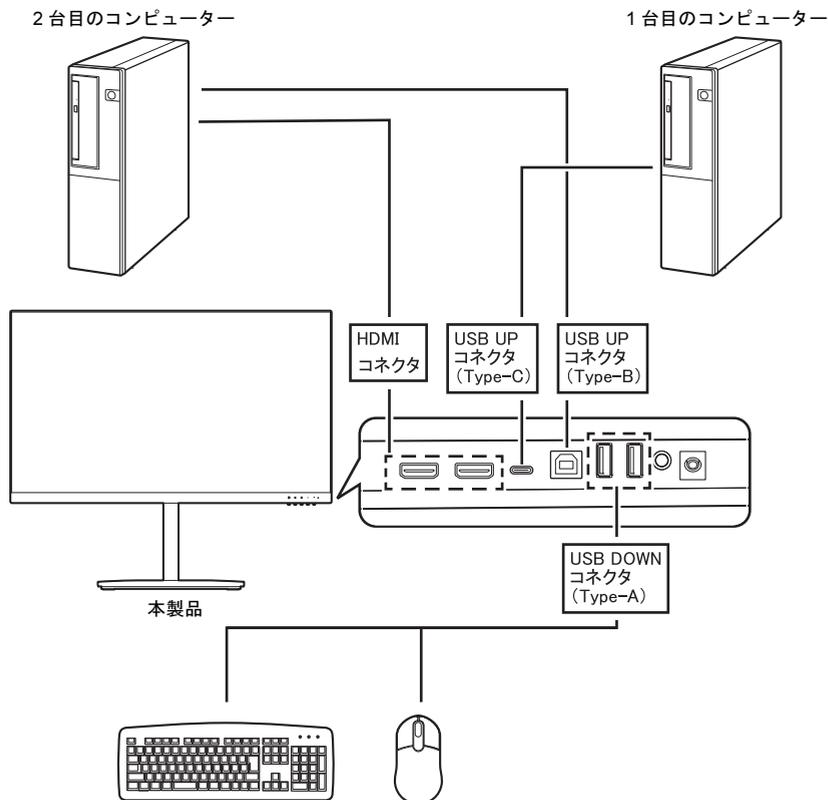
本製品はコンピューター本体切替機能を搭載しているので、2台のコンピューターと、1組のキーボード、マウスを本製品に接続することで、コンピューターの表示を切り替えて使用できるようになります。

## POINT

- ▶ 本製品には、本製品のUSB Type-Bコネクタとコンピューターを接続するためのUSBケーブルは添付されておりません。本機能を使用する場合、市販のUSBケーブルをご購入ください。

## 2 台のコンピューターを接続する

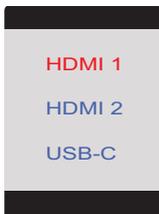
本製品に、2 台のコンピューター、1 組のキーボード、マウスを接続する方法を説明します。  
<接続例>



- 1 台目のコンピューターは、USB Type-C UP コネクタと本製品の背面にある USB Type-C UP コネクタを、添付の USB Type-C ケーブルで接続してください。
- 2 台目のコンピューターは、HDMI コネクタと本製品の背面にある HDMI コネクタを、添付の HDMI ケーブルで接続してください。  
また、コンピューターの USB コネクタと本製品の背面にある USB Type-B UP コネクタを市販の USB ケーブルで接続してください。
- キーボードとマウスは、本製品の背面にある USB Type-A DOWN コネクタに接続してください。

## 表示するコンピューターを切り替える

USB Type-C UP コネクタに接続したコンピューターの映像が、優先的に本製品に表示されます。HDMI コネクタに接続したコンピューターの表示に切り替えたい場合は、入力切替ボタンを押して「入力の切り替え」画面が表示されるので、↑ボタンを押して、接続したコネクタ（HDMI1 または HDMI2）を設定してください。



### POINT

- ▶ 「HDMI 1」または「HDMI 2」の設定状態で、HDMI ケーブルを取り外した場合、映像入力は「USB-C」に切り替わります。「USB-C」の設定状態で、USB Type-C ケーブルの取り外し、接続を行っても入力が切り替わることはありません。
- ▶ 「HDMI」の設定状態で、USB Type-C ケーブルを取り外し後、接続した場合は、「USB-C」に設定が切り替わります。

## キーボードやマウスの接続先を切り替える

キーボードやマウスの接続先を変更するためには、メニュー画面で USB 設定を変更する必要があります。

- 1 メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。
- 2 ↑ボタンを 1 回押して次の画面を表示し、 ボタンを押します。



- 3 ↑ボタンを 2 回押して「USB 設定」を選択し、 ボタンを押します。

#### 4 「USB 設定」を変更します。

- ・ HDMI コネクタ接続のコンピューターに接続を切り替えたい場合  
→ ボタンを押して「USB-B」選択し、 ボタンを押します。
- ・ USB Type-C コネクタ接続のコンピューターに接続を切り替えたい場合  
→ ボタンを押して「USB-C」選択し、 ボタンを押します。



#### 5 ボタンを押した後、 ボタンを押します。

## 8 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。本製品は、コンピューターの制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。省電力機能については、コンピューターのマニュアルをご覧ください。

コンピューターの状態	本製品の動作				本製品の消費電力
	画面表示	本製品の電源供給元	電源ボタン	電源ランプ	
通常状態	表示あり	ACアダプタ	オン	緑	最大時：111W <sup>注1</sup> 標準設定時：25W 以下 <sup>注2</sup>
スリープまたは休止状態	表示なし	ACアダプタ	オン	オレンジ	省電力動作時：0.5W 以下 <sup>注4</sup>
オフ状態	表示なし	ACアダプタ	オフ	消灯	電源オフ時：0.5W 以下 <sup>注3</sup>

注1：スピーカー ON、USB 負荷最大、輝度最大時の状態です。

注2：ご購入時の状態での消費電力です。スピーカー OFF、USB 接続なしの状態です。

注3：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより 0W にすることができます。

注4：接続している機器をスリープに設定しても、本製品が省電力状態にならない場合があります。

## 9 トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先にご相談ください。お問い合わせ先については、『取扱説明書』をご覧ください。

### 画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より、明るさを調整してください。	「明るさ」(→ P.15)
画面が暗くなった	液晶パネル内部のLED バックライトが、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」まで連絡してください。	『取扱説明書』
画面の縦横比が崩れてしまう	コンピューターの設定が推奨解像度以外の解像度(モード)になっている。	コンピューターの設定を推奨解像度(モード)に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.43) コンピューターのマニュアル
	接続しているコンピューターが3840×2160、60Hzに対応していない。	接続しているコンピューターのHDMI、USB Type-Cが3840×2160、60Hzに対応していないと正しい縦横比で表示できないことがあります。コンピューターが対応している解像度でお使いください。	—
次のメッセージが表示される「周波数が仕様外です」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.43) コンピューターのマニュアル
電源投入直後やコンピューターの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	コンピューターからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
表示画面にむらがある(もやもやしている)	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(→ P.10)
画面が表示しない	入力信号が正しく設定されていない。	メニュー画面より、入力信号を設定してください。	「入力信号」(→ P.19)
画面全体が黒、白、赤、緑、青と変化する状態になる	テストモードになっている。	電源ボタンを押して、本製品の電源を一度オフにして、再度オンにしてください。	—

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が点いたり消えたりする	本製品添付以外の HDMI ケーブルを使用している。	本製品添付の HDMI ケーブルをお使いになるか、プレミアムハイスピード HDMI ケーブルまたは、ウルトラハイスピード HDMI ケーブルをお使いください。	
自動回転後、画面が表示しなかったり、画面の縦横比が崩れてしまう	コンピューター、変換ドングル、ポートリプリケータなどの接続機器の性能が足りない。	HDMI ケーブルや USB ケーブルを抜き差しし、正しく表示されるか確認してください。また、解像度やリフレッシュレートを下げて液晶ディスプレイを回転した後、正しく縦画面に表示されるか確認してください。	—
PBP モードで、画面の縦横比が崩れてしまう	コンピューター、変換ドングル、ポートリプリケータなどの接続機器の性能が足りない。	接続機器の仕様をご確認ください。また、「設定」→「システム」→「ディスプレイ」→「ディスプレイの詳細設定」→「ディスプレイ n (VTU2702) のアダプターのプロパティを表示します」→「モード一覧」を確認してください (n はディスプレイの番号)。適切な解像度がある場合は、その解像度を選択してください。	接続機器のマニュアル コンピューターのマニュアル

## 画面が調節できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
メニュー画面の自動調整より調整ができず、次のメッセージが表示される「周波数が仕様外です」	標準表示仕様以外の解像度 (モード) になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度 (モード) を確認し、コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度 (モード) に変更してください。	「標準表示仕様」 (→ P.43) コンピューターのマニュアル

## 音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない。	音量が0になっている。	メニュー画面より、音量を0から上げてください。	「音量」(→P.19)
	音量が小さすぎる。	メニュー画面より、音量を調整してください。	「音量」(→P.19)
	コンピューターの音量設定が最小になっている。	適切な音量に調整してください。	コンピューターのマニュアル
	コンピューターの音量設定がミュートになっている(画面右下の通知領域に <b>Qx</b> と表示されている)。	キーボードの Mute (消音) ボタンを押すか、画面右下の通知領域の <b>Qx</b> をクリックして音量つまみを表示し、 <b>Qx</b> をクリックして <b>Qm</b> にしてください。	コンピューターのマニュアル
	ディスプレイが省電力状態になっている。	省電力時には音声出力をやめる仕様となっております。	「省電力機能」(→P.33)
	PIP/PBP モードご使用時の音声入力コネクタが間違っている。	音声入力(メイン、サブ)を確認してください。	「音声入力」(→P.19)
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる。	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時などに「ブチッ」とノイズ音がする。	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
スピーカーからスマートフォンの音が聞こえない。	スマートフォンの音量が小さい。	ディスプレイの音量とスマートフォンの音量を調整してください。	「音量」(→P.19) スマートフォンのマニュアル
	スマートフォンがUSB Type-C の機器としてディスプレイを検出していない。	スマートフォンが音声出力機器としてディスプレイを検出していません。スマートフォンでUSB機器の検出を行ってください。	スマートフォンのマニュアル

## その他

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプがオレンジ色に点灯しない	マルチメディアデバイスを取り付けている	故障ではありません。本製品にお使いのマルチメディアデバイスによっては本製品が省電力状態にならないことがあります。本製品の電源ボタンを押してオフにするか、そのままお使いください。	—

# 10 日常のお手入れ

## 清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、本製品の各ケーブルをコンセントまたはコンピューターから抜いてください。

### 重要

- ▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
  - ・アルカリ性成分を含んだもの
  - ・界面活性剤を含んだもの
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・研磨材を含んだもの  
など
- ▶ 本製品を清掃するときには、傷が付くのを防ぐため次の点にご注意ください。
  - ・柔らかい布をご使用ください。
  - ・力を入れすぎないようにしてください。
- ▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

### 画面

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



### カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本製品に水が入らないように充分注意してください。



# 11 リサイクル

---

## ■本製品の廃棄について

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「富士通パソコンリサイクル」(<https://azby.fmworld.net/recycle/>)をご覧ください。

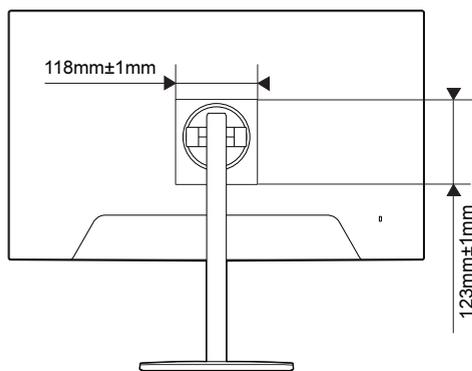
# 12 付録

## アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

本製品はスタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。

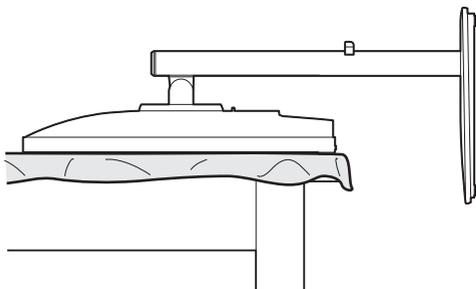
### 重要

- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
  - ・ 取り付け部分のネジ穴の間隔が  $100\text{mm}\times 100\text{mm}$  である
  - ・  $M4\times 10\text{mm}$  のネジで、取り付けができる
  - ・  $8\text{kg}$  の重さに耐えられる
- ▶ ネジは、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの ( $M4\times 10\text{mm}$ ) を必ず使用してください。
- ▶ アームまたは壁掛けキットに含まれるディスプレイ取り付け用のブラケットが  $117\text{mm}\times 122\text{mm}$  を超える大きさの場合は取り付けられない場合があります。

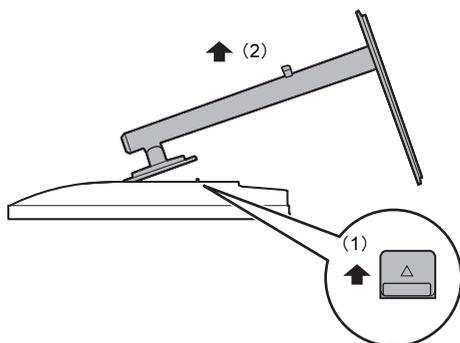


- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。

- 1 すでにケーブルを接続している場合は、すべてのケーブルを取り外します。
- 2 カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。



- 3 (1) つまみを上にスライドさせながら、(2) スタンドを上を持ち上げます。



#### POINT

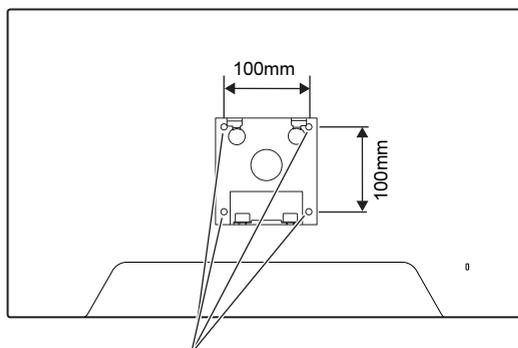
▶ 取り外したスタンドは、スタンドの使用時に必要ですので、大切に保管してください。

#### ⚠ 注意

- ・ スタンドを必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。

#### 4 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ4本（M4×10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

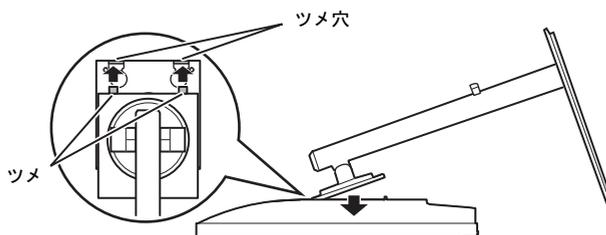
#### 5 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

##### POINT

- ▶ アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

#### ■取り外したスタンドを取り付ける

- 1 ディスプレイの裏面のツメ穴（2ヶ所）にスタンド上部のツメ（2ヶ所）を挿し込み、スタンドをカチッと音がするまではめ込みます。



# 13仕様

## 本体仕様

	項目	仕様
入出力 I/F (コネクタ)	HDMI コネクタ	映像信号：デジタル、HDMI、(TMDS/HDCP 対応)
	USB Type-C コネクタ <sup>注1</sup>	映像信号：デジタル (DisplayPort Alternate Mode HDCP1.4/ DPCP1.1 対応)、USB 2.0 準拠
	USB Type-B コネクタ <sup>注1</sup>	USB 2.0 準拠 Type-B UP コネクタ
	USB Type-A コネクタ <sup>注1</sup>	USB 2.0 準拠 Type-A DOWN コネクタ
	ヘッドホン出力端子 (φ3.5 ステレオミニジャック)	音声信号：ステレオ
表示部	画面サイズ	27 型
	表示寸法	596.7mm (H) ×335.7mm (V)
	液晶パネル	TFT カラー液晶、In-Plane Switching、LED バックライト
	解像度	3840×2160 ドット 60Hz
	画素ピッチ	0.155mm×0.155mm
	表示色	10 億 6433 万色
	輝度	350cd/m <sup>2</sup>
	コントラスト比	1000:1
	応答速度	14.0ms (オーバードライブ時 5ms/4ms)
視野角	上下 178°、左右 178°	
機能	表示モード	640×480、720×400、800×600、1024×768、1152×864、 1280×1024、1366×768、1440×900、1600×900、1680×1050、 1920×1080、3840×2160
	プラグ&プレイ	DDC 2B/CI (VESA) <sup>注2</sup>
	チルト	下 6°～上 17°
	スイーベル	左右各 30°
	高さ調整	横画面：最大 145mm 縦画面：最大 13.2mm
	壁掛け	100mm×100mm (VESA 規格対応)
電源	AC アダプタ	入力 AC100V～240V、出力 DC19V (6.25A)
	最大消費電力	111W
	最小消費電力 (省電力動作時 <sup>注3</sup> )	0.5W 以下
	電源ボタン「オフ」時 <sup>注4</sup>	0.5W 以下
音声部	最大出力	2.0W×2
	スピーカー	ステレオ
	再生周波数帯域 (ユニット)	600Hz～20kHz
外形寸法		横画面：613.7mm (W) ×228.9mm (D) ×385.4～530.4mm (H) 縦画面：366.7mm (W) ×228.9mm (D) ×632.4～663.6mm (H)
質量		約 5.4kg (本体) 約 3.7kg (表示部)

項目		仕様
使用環境	温度	10 ~ 35 ℃
	湿度	10 ~ 80%

注 1：すべての USB 対応周辺機器の動作を保証するものではありません。

・接続した USB 2.0 対応機器の転送速度は最大 480Mbps（理論値）です。

注 2：本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注 3：コンピューターで設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、明るさを特に調整しない状態で使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。

注 4：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより 0W にすることができます。

## 標準表示仕様

本製品には、ご購入時に次のような表の解像度（モード）の調整値が登録されています（走査方式がインターレースの信号は対応していません）。

○：表示可能 ◎：推奨解像度（モード）

解像度 （モード）	水平周 波数 （kHz）	垂直周 波数 （Hz）	表示可能解像度（モード）					
			HDMI			USB Type-C		
			横画面	縦画面 <sup>注</sup> （自動回転 時）	Picture By Picture <sup>注</sup>	横画面	縦画面 <sup>注</sup> （自動回転 時）	Picture By Picture <sup>注</sup>
640×480	31.5-	60-	○	○	○	○	○	○
640×480	37.5-	75-	○	○	○	○	○	○
800×600	37.9+	60+	○	○	○	○	○	○
800×600	46.9+	75+	○	○	○	○	○	○
1024×768	48.4-	60-	○	○	○	○	○	○
1024×768	60+	75+	○	○	○	○	○	○
1152×864	67.5+	75+	○	○	○	○	○	○
1280×720	45+	60+	○	○	○	○	○	○
1280×960	60+	60+	○	○	○	○	○	○
1280×1024	64+	60+	○	○	○	○	○	○
1360×765	47.7-	60+	○	○	○	○	○	○
1440×900	55.6-	60+	○	○	○	○	○	○
1600×900	60+	60+	○	○	○	○	○	○
1680×1050	64.7+	60-	○	○	○	○	○	○
1920×1080	67.5+	60+	○	○	○	○	○	○
2560×1440	88.9+	60-	○	—	—	○	—	—
3840×2160 <sup>注</sup>	135+	60-	◎	—	—	◎	—	—
1080×1920 <sup>注</sup>	118.5+	60-	—	○	—	—	○	—
1440×2560 <sup>注</sup>	158+	60-	—	○	—	—	○	—
2160×3840 <sup>注</sup>	160+	40-	—	◎	—	—	◎	—
1920×2160 <sup>注</sup>	139.2+	60-	—	—	◎	—	—	◎

注：3840×2160、60Hzに対応したコンピューターや機器を接続してください。対応していない機器を接続すると、正しく表示できない場合があります。

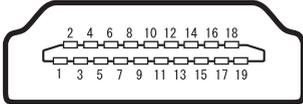
## 重要

- ▶ 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 3840×2160 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。
- ▶ コンピューターの解像度を 3840×2160、60Hz に設定する場合で色深度を 10 ビットに設定するときは、色形式を YCbCr 4:2:0 に設定してください。

## コネクタ仕様

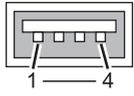
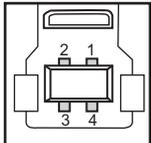
### HDMI コネクタ

端子配列表				端子配列図
No.	信号	No.	信号	
1	TX2+	11	Shield (TXC)	
2	Shield (TX2)	12	TXC-	
3	TX2-	13	CEC	
4	TX1+	14	Reserve	
5	Shield (TX1)	15	SCL	
6	TX1-	16	SDA	
7	TX0+	17	GND (DDC/CEC)	
8	Shield (TX0)	18	+5V Power	
9	TX0-	19	Hot Plug Detect	
10	TXC+			



### USB コネクタ

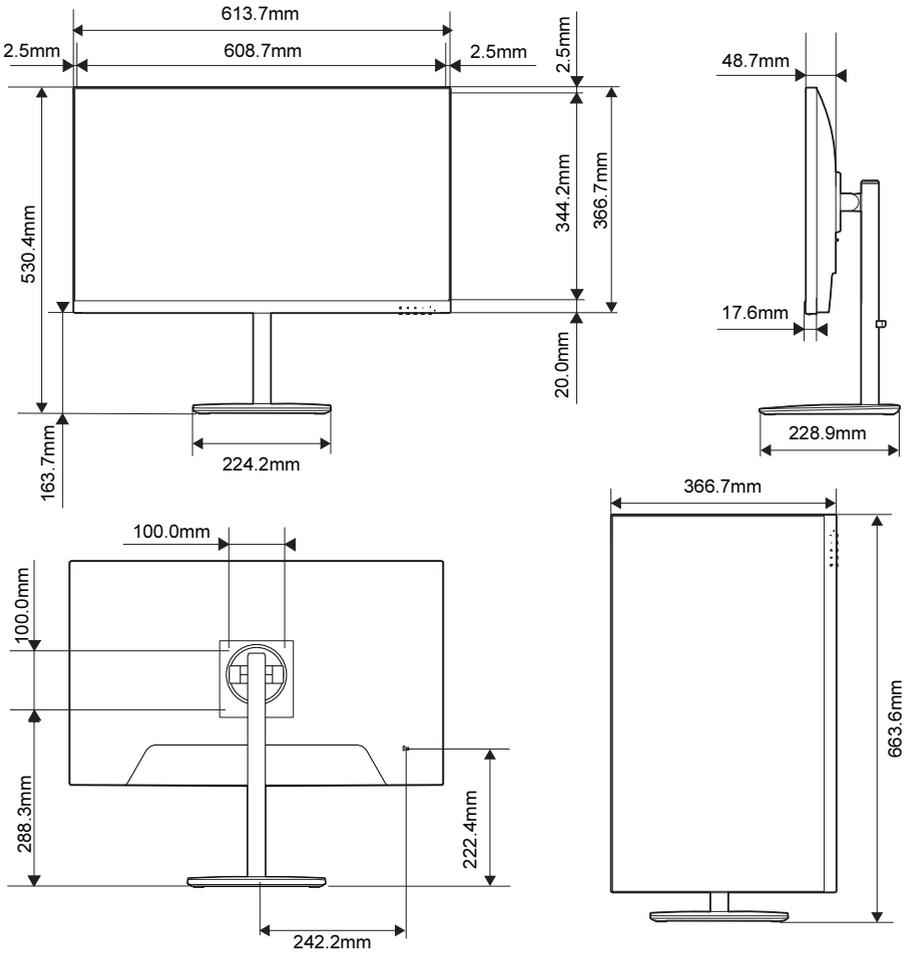
#### □ Type-A/Type-B

端子配列表		端子配列図	
No.	信号	Type-A	Type-B
1	VBUS		
2	D-		
3	D+		
4	GND		

□ Type-C

端子配列表				端子配列図
No.	信号	No.	信号	
A1	GND	B1	GND	
A2	SSTXp1	B2	SSTXp2	
A3	SSTXn1	B3	SSTXn2	
A4	VBUS	B4	VBUS	
A5	CC1	B5	CC2	
A6	Dp1	B6	Dp2	
A7	Dn1	B7	Dn2	
A8	SBU1	B8	SBU2	
A9	VBUS	B9	VBUS	
A10	SSRXn2	B10	SSRXn1	
A11	SSRXp2	B11	SSRXp1	
A12	GND	B12	GND	

# 外形図



---

## DISPLAY VTU2702 補足情報

B6FY-6021-01 Z0-00

発行日 2024年5月  
発行責任 富士通クライアントコンピューティング株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2 新川崎ツインタワー（ウエストタワー）

---

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。